

# 山行報告書

京都田辺山友会

隅谷 正行

山名	岡山県日生諸島ハイキング	山行名	交流部例会 青春 18 切符ハイク
山行日	平成 25 年 9 月 7 日 (土)	天候	雨 後晴れ
参加者	リーダー：隅谷 正行      サブリーダー：坪田 宏  男性：赤松・秋月・石田・梅澤・小川・片山・嘉手苺・金本・北川・北村 倉光・白波瀬・竹原・津田・中田・西上・西川・樋口・平松・広瀬 峯岡・村上・守口・山口・山下・遊佐・弓仲  女性：秋山・加藤・倉光・河野・染矢・竹原・谷川・徳田・平松・守口  以上 39 名		
ルート概略	往路 JR <span style="border: 1px solid black;">京田辺</span> 6:57⇒7:56 <span style="border: 1px solid black;">尼崎</span> 8:06⇒9:41 <span style="border: 1px solid black;">播州赤穂</span> 10:00⇒10:16 <span style="border: 1px solid black;">日生</span> 日生駅  12分→ 日生港 10:30 ~ ~  ~ ~ 11:00 大多府島 到着後 島内一周ハイク  昼食  (総歩行距離約5キロ) 大多府島 14:10 ~ ~  ~ ~ 14:45 日生港 日生港  10分→五味の市(魚市場)買い物 25分  15分→15:45 日生駅 復路 JR <span style="border: 1px solid black;">日生</span> 15:50⇒16:05 <span style="border: 1px solid black;">播州赤穂</span> 16:06⇒17:37 <span style="border: 1px solid black;">尼崎</span> 17:46⇒18:43 <span style="border: 1px solid black;">京田辺</span>		

## 山行報告

昨年は「日本のマチュピチュ雲海の竹田城」。今年は昨年の反省も踏まえ、なるべく乗り換えも少なく座席も確保しやすいところをと、散々考えた末、今回の青春 18 切符ハイクは「日本のエーゲ海」と名うって、私の故郷、岡山県日生諸島を先とした。参加者の募集をしたところ、39名もの多数の参加となり、乗車駅の組み合わせや切符の手配に追われる盛況となった。

当日は尼崎からの電車が予想に反し混雑し、一部姫路あたりまで座れない人もいたようであった。18 切符の使用期限が迫っており、駆け込みの利用者がたくさんいた模様である。

日生駅を降りると雨。船の出発までの余裕時間がなく、雨の中、1 キロ程の道のりを大急ぎで港に向かった。目的の大多府島には、昼食時、多人数を収容できる屋根のある休憩場所がなく、手前の頭島の代替コースも事前に提示していたが、天気予報を信じて予定通り大多府島までの船旅を楽しんだ。

島で船を降りると大雨。失敗したかなーと思いながら、仕方なく港の休憩施設に駆け込む。休憩施設で、島の歴史や史跡について説明をしているうち幸運にも雨が上がり、遊歩道のぬかるみや草についた雨露で少々ズボンが濡れることはあったが、クレタ島(小豆島)を始めエーゲ海の島々の景色を楽しみながら、江戸時代に参勤交代の航路を支えた、元禄防波堤、六角井戸、燈籠堂、その中で江戸時代にニセ金を作っていたと伝えられる勘三郎洞窟などを巡ることができた。途中の昼食中には陽も照りだし、心配した天気もまらずまらず上々であった。島内一周が、若干短いコースとなったが、港で写真撮影などの後、帰路の船旅を楽しんだ。

日生では、魚市場に立寄った。漁が少なくめばしい魚が少なく、少し残念であったが、電車の中で、談笑しながらのビールが最高であった。多人数であったが、参加者の皆さんの協力でもなく、楽しいハイキングであった。感謝するばかりである。ありがとうございました。

青春18切符ハイキング

谷川 琴美



日生港

朝、曇り、でもハイキングには暑すぎずいい感じでした。尼崎と、播磨赤穂で乗り換え、日生に到着。電車の中で「日生諸島（につせいしょとう）なんですねー？」と話したところ「ひ・な・せ よ！」と言われ「え〜！！あーひなせと読むんだ〜！」と自分の無知さに驚いた旅の始まり！電車の中で隅谷さんから今日のハイキングの資料をいただきました。往復の経路、時間、今日まわる島の写真、地図、説明など、とっても詳しく説明されていて、日生がどこにあるのか、今日行く島はどんなところなのか、全く知らなかった私には、かなりの勉強になりました。この資料のおかげで、電車の中で予習することができ、とても役立ちました。日生に着くと雨が降ってきましたが、今日は

ハイキング！少々の雨は傘をさせばOK！少し歩いて、船に乗り、いよいよ島巡り。船上では、少し肌寒い感じ。頭島に寄り、次に大多府島、大多府島は、周囲5kmくらいと小さな島にもかかわらずいろいろ史跡があり、1698年に開かれたという古い古い港があり、見どころがいっぱいでした。そして初めから最後まで、隅谷さんの詳しいガイドつきです。やはり、資料を読んだだけでは、全然頭に入ってこないけれど、その場その場で説明していただくと、とてもよくわかります。こんな小さな島なのに、島を一巡する自然研究路がきちんと整備されていてハイキングには最適でした。途中、休憩所や展望のとてもよいところがあり、ながめも最高。すぐ近くには、小豆島も見え、他の諸島が点在し、見晴バツグン！ちょうど雨もあがり、昼食も、おいしい空気、いい景色のなか、おいしくいただきました。5kmくらいの中で、見所満載！特に勘三郎洞窟はそこでにせ金作りをしていたらしく、それを思うとおもしろかったです。帰りはまた船に乗り、日生港の魚市場に寄り、みんなで買い物タイム。隅谷さんのお兄様が、ビールを2箱も持ってきてくださって冷たいビールと先ほど買ったおつまみでのどを潤しました。歩いた後のビールはすごくおいしかったです。ありがとうございました。メールで、丁寧に行程を送っていただき、また、詳しい資料を作っていただきありがとうございました。本当に大変だったことと思います。おかげで青春18切符ハイキングは一日楽しく過ごすことができ、大満足でした。





大多府加子番所



六角井戸



勘三郎洞窟跡



小豆島を望む昼食タイム



燈籠堂



大多府港にて